

NTT データと Google、AI エージェント共同開発で世界販売へー安全性重視の全貌解説



Genspark

Aug 12, 2025

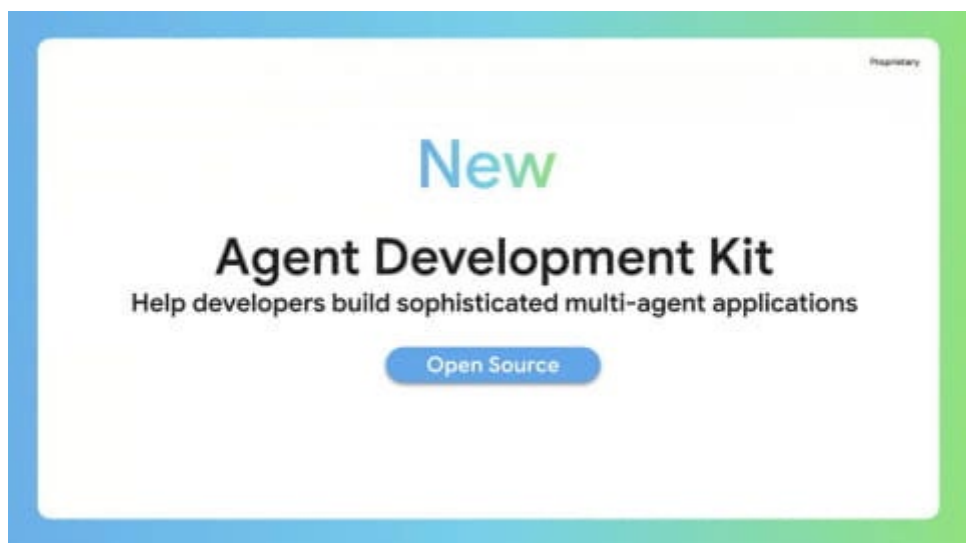
要点サマリー

- 2025 年 8 月 12 日の報道「NTT データ G と Google、AI エージェント開発へ 安全性高め世界販売」という本提携の狙いは、Google の生成 AI 基盤（Gemini/Vertex AI/Agentspace/ADK 等）を活用し、営業や CX 領域を含む自律的な「AI エージェント」を共同開発・世界販売すること。処理基盤を NTT データ側データセンターで運用し安全性を高める方針が報じられた（イブニングスクープ）日本経済新聞 [1](#)。
- 「AI エージェント」は、LLM/チャットボットと異なり、目的志向のプランニング、ツール実行、記憶、長期ワークフロー、自律的な協調（マルチエージェント）を備える。Google の Agent Development Kit (ADK) や Agentspace、A2A (Agent2Agent) 規格が、この実装を下支えする Impress Cloud Watch [2](#)。
- 安全性は、データ主権・権限制御（Google Cloud IAM/企業データ連携の権限尊重）、トレーサビリティ（Bedrock Agents のような推論トレースの設計に近い考え方）、規制産業向けのプライベート/ソブリン運用（Mistral 提携の枠組み）で担保していく計画が読み取れる NTT データ データインサイト [3](#)、Impress Cloud Watch [2](#)、NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)。
- 役割分担は、Google＝基盤（Gemini/Vertex/Agentspace/ADK/A2A 等）＋エコシステム、NTT データ＝SI・導入運用・業務テンプレート・グローバル Go-To-Market (GTM)。NTT データは全世界 50 超の国で約 19.8 万人、売上 4.64 兆円規模の SI 体制と、GenAI コンサル実装で Gartner 「Emerging Leader」評価が裏付け NTT DATA 企業プロフィール [5](#)、NTT DATA Gartner 評価 [6](#)。
- 直近の欧州系 LLM ベンダー Mistral AI との提携では、規制産業に特化したプライベート/ソブリン AI の共同展開を掲げ、コールセンター/言語特化 LLM/COE 設置等を発表。Google との提携はクラウド/エコシステム駆動型、Mistral は主権性/データ主権・規制適合型という補完関係 ITmedia エンタープライズ [7](#)、NTT DATA(US) プレスリリース [4](#)。

- 競合は Microsoft (Copilot/Agents/Studio)、AWS (Agents for Bedrock/Amazon Q Business)、Salesforce (Agentforce)、IBM (watsonx Orchestrate) 等。Google×NTT データ連合は A2A/Agentspace/ADK に NTT の SI 力を掛け合わせ、マルチエージェントや権限制御に厚み Microsoft News⁸、Serverworks ブログ⁹、AWS Amazon Q Business¹⁰、Salesforce (Recap) ¹¹、IBM Docs¹²。
- 想定ユースケースは営業・CX (Next Tokyo の登壇)、コールセンター、知財リサーチ、公共/金融/保険など規制産業の業務自動化。営業領域では NTT データの SmartAgent と LITRON Sales の堅い適用ロードマップが示唆 Google Cloud Next Tokyo セッション ¹³、AI Market (SmartAgent) ¹⁴。
- 技術・倫理・法的リスクは、幻覚・権限逸脱・個人情報/越境・責任分界など。対策は IAM ベースの権限制御、プライベート/ソブリン環境、トレース/監査、相互チェック型マルチエージェント、ガバナンス運用の整備で緩和可能 NTT データ データインサイト ³、NTT グループ (マルチ AI エージェント) ¹⁵、Serverworks ブログ⁹。

参考図版 (クリックで拡大)

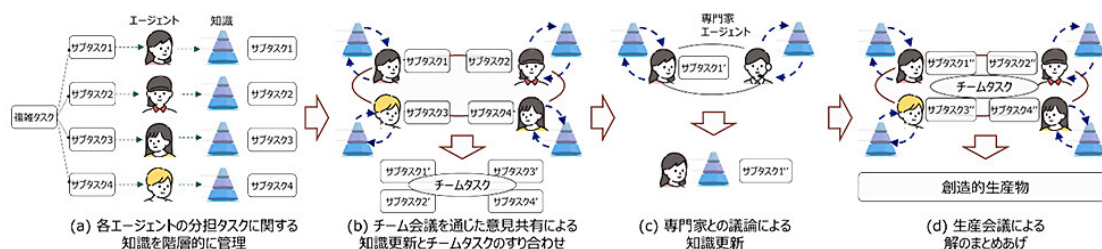
- Google ADK/Agent Engine イメージ (記事内図版)



Impr

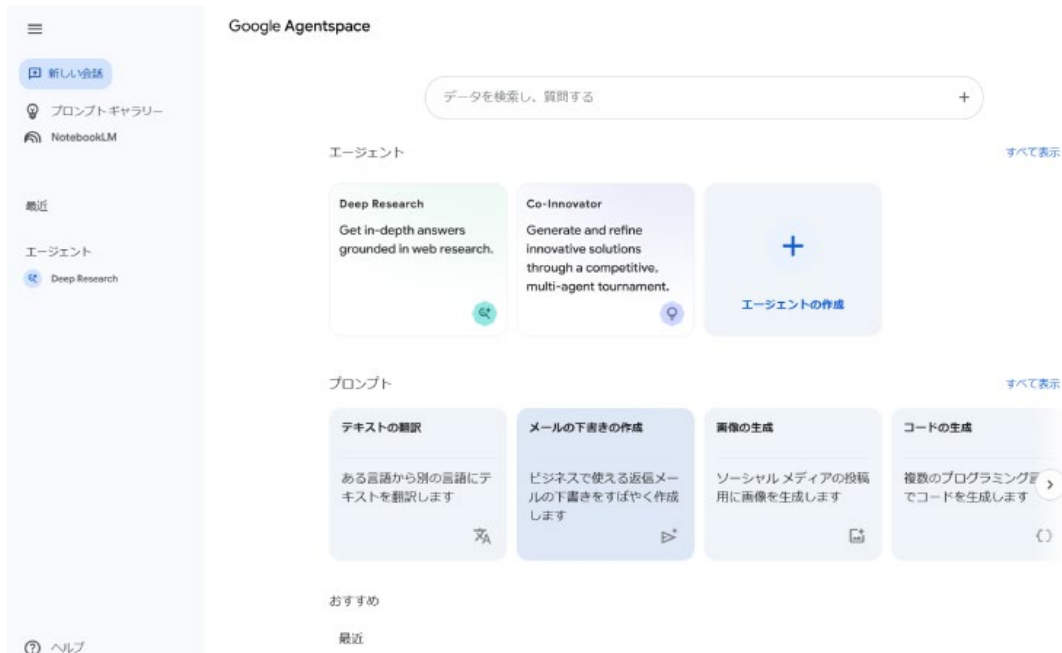
ess Cloud Watch²

- NTT : AI エージェント自律協調の基盤技術 (人間の記憶構造・協働創造を模倣)



NTT グループ [15](#)

- Google Agentspace (NTT データ実践レポートの UI 例)



NTT データ データインサイト [3](#)

1. 一次報道 (2025 年 8 月 12 日) の要点整理

- 見出し・配信：NTT データ G と Google、AI エージェント開発へ 安全性高め世界販売（イブニングスクープ、2025 年 8 月 12 日 18:00）日本経済新聞 [1](#)。
- 目的：営業など自律的にこなす AI エージェントを共同開発、Google の生成 AI を基に実現、世界で販売日本経済新聞 [1](#)。
- 安全性：AI の処理基盤を NTT データ側データセンターで運営して情報の安全性を高める方針との記述（報道要約）日本経済新聞 [1](#)。
- 二次確認：Investing.com も「世界市場対象・顧客データ保護の設定を実装」等と要点を紹介（本文取得不可・見出し要約）Investing.com（記事一覧） [16](#)。
- 関連動向：Google Cloud Next Tokyo では NTT データが「AI エージェントで加速する CX 変革」と題した登壇・展示を実施 NTT データ イベント告知 [17](#)、Google Cloud Next Tokyo セッション [13](#)。

2. 「AI エージェント」の定義と LLM/チャットボットとの差異（技術的観点）

- 定義（本件文脈）：目的志向で、計画（Task Planning）、ツール実行（API/DB/RPA 等）、マルチモーダル入出力、企業データへの権限制御付きアクセス、状態保持（メモリ）、長期ワークフロー、必要時に他エージェントと協調できる実行主体。Google の ADK+Agent Engine、サンプル集 (Agent Garden)、エージェント間連携規格 A2A、業務データ融合の Agentspace がその骨格を提供 Impress Cloud Watch²、NTT データ データインサイト ³。
- LLM/チャットボットとの違い：
 1. 自律性：単発応答から、目標達成のための分解・計画・再試行・例外処理へ拡張（Copilot Studio では「長期プロセスの自動化」「メモリ活用と学習」「例外の記録と要請」） Microsoft News⁸。
 2. ツール実行：外部 API/システムを呼び出し現実世界を変更（Bedrock Agents は Lambda/Knowledge Base 統合と推論トレースを提供） Serverworks ブログ ⁹。
 3. 権限制御・データ境界：Agentspace は企業の各データプラットフォームを参照先に設定し、IAM に基づくアクセス制御で出力をガード NTT データ データインサイト ³。
 4. マルチエージェント連携：A2A 規格で異種フレームワーク間のやり取りを標準化。複数エージェントの協働を前提にした「エージェントティック AI」への足場 Impress Cloud Watch²。
 5. ガバナンス：開発～本番適用・運用・監査まで含むエージェント運用（Agent Engine 等）を前提とした設計 Impress Cloud Watch²。

3. 「安全性の高さ」の内訳（計画される技術・仕組み）

- データプライバシー/主権：
 - NIKKEI 報道の骨子は「処理基盤を NTT データのデータセンターで運営」＝顧客データをクラウド/データセンターの選択・制御下で扱い、流出/越境リスクを抑制するアーキテクチャ日本経済新聞 ¹。
 - Mistral 提携では規制産業向けプライベート/ソブリン AI（ルクセンブルクでソブリン・プラットフォームを共同開発）を明示し、地域規制への適合と戦略的自律性（Strategic Autonomy）を志向 NTT DATA（US）プレスリリース ⁴。
- アクセス制御/最小権限：

- Agentspace は組織の多様なデータプラットフォームを参照先にでき、Google Cloud IAM に基づくアクセス制御で検索・回答出力を制限（データ境界の尊重）NTT データ データインサイト [3](#)。
- 誤情報対策/トレーサビリティ：
 - Bedrock Agents はステップ別の推論トレースが特徴。Google でも Agent Engine/Marketplace、A2A 標準化により、部品・経路の透明性や審査性を高めたエコシステム拡張が進む（設計思想として同型）Serverworks ブログ [9](#)、Impress Cloud Watch [2](#)。
- 倫理・品質：
 - NTT はマルチ AI エージェントに「相互チェック」「知識の再利用」を組み込み、複雑タスクでも一貫性・実現性・具体性を高める。チーム会議/生産会議/専門家エージェント生成の自動化で、誤り検出や説明可能性の強化に資する NTT グループ [15](#)、日経 xTECH [18](#)。

4. 両社の役割と強み a) NTT データグループ（SI/顧客基盤/グローバル）

- 規模と全球展開：売上 4 兆 6,387 億円（2025 年 3 月期）、約 197,800 名、50 超の国で IT サービス提供 NTT DATA 企業プロフィール [5](#)。
- ケイパビリティ：生成 AI コンサル/実装で Gartner の「Emerging Leader」評価（市場理解・イノベーション・製品/サービス・実現可能性等の評価軸）NTT DATA Gartner 評価 [6](#)。
- プロダクト化の萌芽：SmartAgent（パーソナル/特化エージェント連携、タスク分割、Advanced RAG、Agent Ops 等）と営業特化 LITRON SalesAI Market(SmartAgent) [14](#)。

b) Google（基盤技術とエコシステム）

- Gemini/Vertex AI に加え、AI エージェント開発の ADK（100 行未満の Python で構築）、Agent Garden/Engine、A2A 規格、AI Agent Marketplaceなどを発表 Impress Cloud Watch [2](#)。
- 業務変革テーマへの適用：Next Tokyo で「AI エージェントで加速する CX 変革」を掲げるセッション（Gemini が主要製品）Google Cloud Next Tokyo セッション [13](#)。

5. NTT データ×Mistral AI の提携（目的・内容・Google 連携との違い）

- 目的：安全・持続可能なエンタープライズ・プライベート AI の共同展開（金融/保険/防衛/公共など規制産業を想定）ITmedia エンタープライズ [7](#)。
- 具体：
 - コールセンターなど CX 基盤へ Mistral 統合（欧州/APAC で展開開始）ITmedia エンタープライズ [7](#)。
 - 言語・市場特性に応じた LLM の共同開発の可能性、専任の GTM 体制構築

(仏・ルクセンブルク・スペイン・シンガポール・豪など) NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)。

- ルクセンブルクで規制産業向けソブリン・プラットフォーム共同開発、Denemeyer での知財検索・分析の高度化など初期案件 NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)。

- Google 提携との違い/補完：Google はパブリック/ハイブリッド前提のプラットフォーム+A2A 標準+マーケットプレイスを核にエコシステム拡張。Mistral は規制/主権・ローカル言語最適化を軸にプライベート指向。両者はグローバル展開と規制順守の両利き体制として補完関係 Impress Cloud Watch [2](#)、NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)。

6. NTT データの AI 全体戦略（推察）

- マルチ LLM/マルチ基盤戦略：Google (Gemini/Vertex/Agentspace/ADK/A2A) × Mistral (オープンウェイト高性能 LLM/ソブリン基盤)。過去には OpenAI との戦略的提携も報じられており、顧客要件に応じた最適基盤の組合せを標準化する方向性 ZDNET Japan (見出し) [19](#)。
- グローバル GTM：50 超の国・約 19.8 万人規模のデリバリーと Gartner 評価を背景に、共創→テンプレート化→現地適用→運用の反復可能な AI 導入パターンを確立 NTT DATA 企業プロフィール [5](#)、NTT DATA Gartner 評価 [6](#)。
- マルチエージェント研究の実装化：NTT の自律協調基盤（記憶構造/協働創造スキーム）を商用エージェントの品質・説明可能性・継続学習に接続 NTT グループ [15](#)、日経 xTECH [18](#)。

7. 競合状況と比較

- Microsoft：Copilot/Team Copilot、Copilot Studio のエージェント機能（長期プロセス自動化、メモリ/学習、例外処理）。Microsoft 365/Teams/SharePoint 等の業務 OS に直結 Microsoft News [8](#)。
- AWS：Agents for Amazon Bedrock (Lambda/Knowledge Base 統合、推論トレース)、Amazon Q Business (企業アプリ統合・権限制御を想定) Serverworks ブログ [9](#)、AWS Amazon Q Business [10](#)。
- Salesforce：Agentforce で CRM データ×アクションの統合による自律エージェント (Dreamforce 2024) Salesforce (Recap) [11](#)。
- IBM：watsonx Orchestrate (エージェント/オーケストレーションの強化) IBM Docs [12](#)。
- Google×NTT データの差別化：
 - A2A で異種エージェント間連携の標準化を主導、Agentspace で企業データ

統合×IAM 制御、ADK で開発容易性、Marketplace で供給・再利用を加速
Impress Cloud Watch²、NTT データ データインサイト ³。

- NTT データの SI 力・GTM・運用力で「導入の現実解」を握り、規制・主権要件は Mistral 連携で補完する構図 NTT DATA 企業プロフィール ⁵、NTT DATA (US) プレスリリース ⁴。

8. 対象業界・ユースケースとビジネスインパクト

- 営業/CX：商談準備、議事録解析→SFA 自動更新、提案書自動作成、カスタマー対応の自動化など (SmartAgent/LITRON Sales、Next Tokyo の CX テーマに合致) AI Market (SmartAgent) ¹⁴、Google Cloud Next Tokyo セッション ¹³。
- コールセンター：エージェント型の自律対応・支援 (欧州/APAC から展開開始) ITmedia エンタープライズ ⁷。
- 知財・R&D：特許検索/分析の高度化 (Denemeyer 案件) NTT DATA (US) プレスリリース ⁴。
- 規制産業：金融/保険/防衛/公共でのプライベート/ソブリン型展開 NTT DATA (US) プレスリリース ⁴。
- インパクト (定性的)：リードタイム短縮、一次対応の自動化率向上、ナレッジ活用の網羅性/正確性改善、監査容易性 (権限とトレース) による規制順守のコスト抑制などが期待 NTT データ データインサイト ³、Serverworks ブログ ⁹。

9. 主要リスクと緩和策

- 技術：幻覚/誤作動、外部ツール呼出しのリスク、エージェント間競合。
 - 対策：RAG/ソース明示、トレース/監査、ポリシーによるツール権限の最小化、相互チェック型マルチエージェント (NTT 研究) Serverworks ブログ ⁹、NTT グループ ¹⁵。
- 倫理：バイアス、過度の自動化による影響。
 - 対策：人的レビュー・責任分界、説明可能性 (トレース/根拠提示)、人間中心の運用設計 Serverworks ブログ ⁹、NTT グループ ¹⁵。
- 法務/プライバシー：越境移転、同意、業法準拠。
 - 対策：データセンター運用/プライベート・ソブリン環境、IAM/ABAC、ログ管理、地域 GTM の準拠設計日本経済新聞 ¹、NTT DATA (US) プレスリリース ⁴、NTT データ データインサイト ³。

補足：販売戦略の示唆

- 世界販売：Google 基盤×NTT データの GTM (展示・講演・PoC→テンプレート化→横展開)、Agentspace/Marketplace を活用した供給と再利用。規制要件は Mistral

連携でローカル適合（欧州/APAC の順次展開）NTT データ イベント告知 [17](#)、Impress Cloud Watch[2](#)、NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)。

- NTT データの顧客基盤×規模のレバレッジ（50 超の国・約 19.8 万人）で導入を加速 NTT DATA 企業プロフィール [5](#)。

結論（要約）

- 本提携は、Google のエージェント技術群（Gemini/Vertex/Agentspace/ADK/A2A）と、NTT データの SI・運用・GTM 力を結合し、営業/CX をはじめ企業業務の自律自動化を世界展開する構想。安全性はデータセンター運用/権限制御/トレーサビリティ/規制適合で立体的に担保する（Mistral とのソブリン路線で補完）日本経済新聞 [1](#)、Impress Cloud Watch[2](#)、NTT データ データインサイト [3](#)、NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)。
- 競合は強力だが、A2A 標準と Marketplace でエコシステム優位を築く Google 陣営に、現場実装力の強い NTT データが加わることで「現実解」を押し広げる可能性が高い。規制産業では Mistral 連携で主権・ローカル最適に踏み込めるハイブリッドな戦略が見える Impress Cloud Watch[2](#)、NTT DATA 企業プロフィール [5](#)、ITmedia エンタープライズ [7](#)。

参考リンク（記事・イベント）

- NIKKEI（イブニングスクープ）：NTT データ G と Google、AI エージェント開発へ 安全性高め世界販売日本経済新聞 [1](#)
- Google Cloud Next Tokyo（NTT データ登壇）NTT データ イベント告知 [17](#)、セッション詳細 [13](#)
- Google の ADK/A2A/Marketplace の概説 Impress Cloud Watch[2](#)
- Agentspace 実践レポート（NTT データ）NTT データ データインサイト [3](#)
- SmartAgent/LITRON Sales（メディア要約）AI Market[14](#)
- NTT のマルチ AI エージェント研究 NTT グループ [15](#)、日経 xTECH[18](#)
- Mistral 提携（公式/メディア）NTT DATA (US) プレスリリース [4](#)、ITmedia エンタープライズ [7](#)
- NTT データの規模/評価 NTT DATA 企業プロフィール [5](#)、NTT DATA Gartner 評価 [6](#)
- 競合参照 Microsoft[8](#)、AWS Bedrock Agents[9](#)、Amazon Q Business[10](#)、Salesforce[11](#)、IBM[12](#)

ご要望があれば、上記を基に「導入ロードマップ（PoC 設計→モデル/ツール選定→権限制御/監査→本番運用/改善）」や「業界別ユースケース要件定義テンプレート」の作成も可能です。

Appendix: Supplementary Video Resources



NTT データ オープン AI と提携 国内初 販売代理店契約【WBS】

Apr 24, 2025



【AI】OpenAI と NTT データグループ提携について長野陸が ...

May 13, 2025



1分でわかる！NTT データ

Jun 10, 2024

もっと詳しく

1

www.nikkei.com

2

cloud.watch.impress.co.jp

3

www.nttdata.com

4

us.nttdata.com

5

www.nttdata.com

6

www.nttdata.com

7

www.itmedia.co.jp

8

news.microsoft.com

9

blog.serverworks.co.jp

10

aws.amazon.com

11

www.salesforce.com

12

www.ibm.com

13

www.googlecloudevents.com

14

ai-market.jp

15

group.ntt

16

jp.investing.com

17

www.nttdata.com

18

xtech.nikkei.com

19

japan.zdnet.com

